



## 第39回防衛問題セミナー（徳島県松茂町）

令和7年6月24日、徳島県松茂町の松茂町総合会館3階多目的ホールにおいて、当局主催による第39回防衛問題セミナーを開催しました。

徳島県での開催は5回目となる今回の防衛問題セミナーでは「南海トラフ巨大地震に備える」をテーマに陸上自衛隊中部方面総監部 不破悟 幕僚副長、徳島県危機管理部 佐藤章仁 部長のお二方を講師にお迎えしご講演いただきました。

約220名の方々が来場され、大変熱心に聴講されていました。



多目的ホールの状況



主催者挨拶  
中国四国防衛局長 田實 博幸（当時）

第1部として、不破幕僚副長からは「巨大地震への備え～自衛隊の対応と南海レスキュー2024の成果～」と題して、陸上自衛隊中部方面隊の組織の概要、近年の災害派遣状況、南海トラフ地震発生時の自衛隊及び中部方面隊の対応要領、南海トラフ巨大地震における最大クラスの地震・津波想定に基づいた実動訓練（南海レスキュー2024）の概要と成果について、ご講演いただきました。



中部方面総監部 不破 悟 幕僚副長

第2部は、佐藤部長からは「切迫する南海トラフ巨大地震への備え」と題して、令和6年の能登半島地震の被害状況及び避難所の状況を踏まえて、南海トラフ巨大地震における徳島県が直面するリスク（被害想定）、防災対策について紹介していただきました。また、徳島県の取り組みとして、防災関係機関及び住民が一体となった総合的な防災訓練の紹介、徳島県県土強靱化・レジリエンス推進計画などについて、ご講演いただきました。



徳島県危機管理部 佐藤 章仁 部長

聴講された方々からは、「災害について考える良い機会だった」「自衛隊の活動内容がよく理解できた」「日頃の備えの必要性を感じた。危機感をもって毎日生活したいと思った」「防災に対する意識を高める大変良い講話でした」などといった感想や意見をいただきました。

今後も、防衛問題セミナーを通して、防災意識の向上や防災対策の重要性、併せて、防衛省・自衛隊の取組について、広く知っていただけるよう取り組んでまいりますので、お近くの自治体で開催の際には、お気軽にお越しください。